



北海道大学と九州大学がクロスアポイントメントを実施

■概要

北海道大学と九州大学では、研究者が組織の壁を越えて活躍し、教育研究の活性化・強化を目指したクロスアポイントメント制度（※1）を整備しています。

今回、日本の北と南に位置する両大学間の取組み第1号として、平成27年12月25日（金）にクロスアポイントメントに関する協定を締結いたします。

平成28年1月1日（金）より、北海道大学スラブ・ユーラシア研究センターの岩下明裕教授がクロスアポイントメント適用教員となり、九州大学教授としても教育研究活動を行う予定です。

■背景

北海道大学と九州大学は、日本の北と南の基幹大学として、平成17年から10年にわたり合同で活動報告会を開催するなど、互いによきライバルとして競い合い、またパートナーとして連携してきました。

このようなパートナーシップの下、北海道大学スラブ・ユーラシア研究センターと九州大学アジア太平洋未来研究センターにおいては、グローバル化の進展と並行し、欧米で急速に展開している新しい領域横断的分野であるボーダースタディーズ（境界研究）（※2）のシンポジウムや研究会などを共同で開催する等、研究交流を行ってきました。

そして、この度、国際学会（Association for Borderlands Studies）の会長を務めるなど、日本におけるボーダースタディーズの第一人者である北海道大学の岩下明裕教授は、九州大学の教員としても教育研究活動に従事すべく、両大学においてクロスアポイントメントを実施することになったものです。

これにより、日本および近隣諸地域との研究ネットワークの発展を考える場合、これまで数多くのボーダースタディーズの研究実績をもつ北海道大学と、境界領域を多数抱える九州に位置する九州大学が、共同できる態勢が整うことから、相互補完的に双方の研究・教育力を強化することが期待されます。

■内容

（今回のクロスアポイントメントの内容）

1. 両大学の協定により、岩下明裕教授は、両大学に所属し、定まったエフォートに応じてそれぞれの機関で活動を行います。
2. 岩下明裕教授は、ボーダースタディーズの研究及び学生指導の業務を行います。
3. 勤務割合：北海道大学（70%）・九州大学（30%）

（協定の有効期限）

平成28年1月1日～平成29年3月31日

(※1) クロスアポイントメント制度：研究者が二つ以上の機関に雇用されつつ、一定のエフォート管理の下で、それぞれの機関における役割に応じて研究・開発および教育に従事することが可能な仕組み。

(※2) 境界研究：実態空間と空間認識・集団認識の間に生じる差異における研究。実態空間は国家と国家の接触点（国境）であり、そこに住む人間が持つ空間認識や集団認識とずれることで、民族対立や国境が生じている為、国境問題、文化摩擦といった形で生じている境界をめぐる対立・紛争を実態・表象の双方から考察する。

お問い合わせ先：

北海道大学 法学研究科・法学部事務部スラブ・ユーラシア研究センター事務担当 熊坂（くまさか）

TEL：011-706-3156 E-mail：kakaricho@slav.hokudai.ac.jp

九州大学 国際部国際企画課 鶴田（つるた）

TEL：092-642-7361 E-mail：intlkc-afcs@jimu.kyushu-u.ac.jp